

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

弁天小	学校
-----	----

児童数	83
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.39	18.28	34.63	38.10	41.60	9.65	133.49	17.22	48.76
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.53	17.16	40.68	35.00	34.16	9.86	132.53	13.85	53.64
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は、8種目のうち「長座体前屈」では、大阪市平均、全国平均を上回った。その他7種目は下回り、体力合計点では、全国平均から約3.8ポイント大阪市平均から約2.4ポイント下回る結果であった。女子は、8種目のうち「長座体前屈」「ソフトボール投げ」では、大阪市平均、全国平均を上回った。他の6種目においては、大阪市平均、全国平均の両方を下回り、体力合計点では、大阪市平均を約1ポイント上回り、全国平均から約0.6ポイント下回る結果であった。

質問項目「運動・スポーツをすることが好きですか」について「好き」と回答した児童の割合は、男子は大阪市が73.0%、全国が72.1%であるのに対し、本校では47.7%という結果であった。女子は大阪市が52.9%、全国が54.5%であるのに対し、本校では45.7%という結果であった。このことは、1週間の総運動時間数にも反映されている。60分未満である児童の割合は、男子は大阪市が10.6%、全国が9.0%であるのに対し、本校では27.3%、女子は大阪市が18.3%、全国が16.3%であるのに対し、本校では31.5%という結果であった。男子女子ともに総運動時間60分未満の割合が大幅に多いことが明らかになった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、休み時間に外で元気よく遊ぶ児童が季節を問わず多くいる。そのような中で、より運動に興味関心をもたせるために11月から12月にかけて「弁天アスレチック」の取り組みを実施した。運動場の一角を防球ネットで囲い『立ち幅跳び・一輪車・竹馬・30m走・ボール投げ・握力測定・縄跳び・反復横跳び・ラダートレーニング・雲梯・上り棒』ができるように場を設定し、各学年に時間を割り当てた。児童は大変意欲的に参加し、自身の記録が伸びるのを楽しんでいた。また、2月は「なわとび月間」とし、休み時間に運動場で大縄・短なわを楽しんだ。

児童質問紙から、運動が好きで週当たりの運動時間が多い児童と、そうではない児童の二極化が明らかになった。「どうすれば今後運動したくなると思いますか。」の問いに対して、「うまくできるようになったら」という回答が男女ともに一番多かった。これは、運動に対する自信のなさの表れであると考えられる。

今後は、上記のような体力向上の取り組みをさらに進め、児童が楽しく運動ができる環境づくりに力を入れたい。また、業間遊び、体育的行事、体育科学習などを工夫することにより、体を動かすことの楽しさを味わわせ、生涯において運動と関わる意識を培い「運動が好き」な児童の育成をめざしたい。